

## 委員会等の会議録

1 会議名	愛南町西海地域審議会	
2 議題	(1) 新町建設計画の進捗状況について (2) その他	
3 開催日時	令和7年2月25日(火) 14時50分から16時20分まで	
4 開催場所	愛南町役場西海支所 2階 大会議室	
5 傍聴者数	0人	
出席者		
6 委員氏名	手塚 新一郎、吉田 将人、内田 留美、松田 恵子 濱本 紀子、吉田 さとみ、伊田 ふみ、高橋 翔	
7 担当所属	所属名	企画財政課 政策推進室
	担当職員 (職・氏名)	企画財政課長 清水 雅人 政策推進室長 桑原 真也 主幹 好岡 英樹
8 その他の 出席職員	所属名	西海支所
	出席職員 (職・氏名)	町長 中村 維伯 副町長 木原 荘二 支所長 伊田 光洋 主幹 吉田 直喜
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
	(開会)
手塚会長	議題(1)「新町建設計画の進捗状況」について説明をお願いします。
好岡主幹	(新町建設計画の進捗状況について説明)
手塚会長	質疑等ありませんか。
全委員	(なし)
手塚会長	議題(2)「その他」について事務局から説明をお願いします。
好岡主幹	<p>町の政策を定める最上位の計画で、町民、事業者及び行政がそれぞれ果たすべき役割と責任を分担して、総合的かつ計画的にまちづくりに取り組んでいくための指針となる、第三次愛南町総合計画というものがあります。</p> <p>この第三次愛南町総合計画は、基本構想と基本計画で構成されております。</p> <p>基本構想は、町の将来像とまちづくりの状況を明らかにするもので、期間は令和4年度から令和11年度までの8年間です。</p> <p>基本計画は、基本構想を実現するための政策、施策の目指す姿、目的を明らかにするとともに、施策に貢献する基本事業などを定めるものです。</p> <p>期間は令和4年度から令和7年度までの前期基本計画と、令和8年度から令和11年度までの後期基本計画に分かれます。</p> <p>来年度、令和8年度から令和11年度までの後期基本計画の策定の年となっています。</p> <p>基本構想自体を変えることはないのですが、令和8年度からの後期基本計画は、全体的に前期の計画をベースとして、その中で、特にこの4年間を通して力を入れていく内容などを加味して策定していきます。町長の公約もその一つです。</p> <p>そこで皆様にお願ひがあります。</p> <p>この場をお借りし、皆様から、これからの愛南町について、特にこんなことに力を入れてほしい、といった御意見をお聞かせください。</p> <p>御意見をいただいたからといって必ず計画に入るものではあ</p>

	<p>りませんが、参考にしたいと思っています。率直な御意見をお願いします。</p>
手塚会長	<p>事務局の説明が終わりました。 この件について、何か御意見等がありましたらお願いします。</p>
伊田委員	<p>私は、今は体調を崩して辞めていますが、以前、内泊で民生委員をしていました。うみらいくの学生と交流することがあって、地震、津波の時の避難場所が、うみらいくになっていました。今は、先生方にも相談して、西浦小学校の跡地にしようと思ったのですが、そこに避難してももちろん何もありません。 学校の跡地に木が生えて荒れ地になっている所で、生徒も先生方も避難場所がそこになっていると知らなくて、説明してやっと分かってもらえています。 そこに防災倉庫などを設置してもらえたらという話を町に相談しているという話は区長から聞きました。 建設課などの説明を受けるという話は聞いていますが、ただ単に倉庫を建てるだけではなく、そこに行くまでの道についても考えていただきたいと思います。 最近、うちの近くでも、猪が石垣を壊したこともありましたが、猪が出なくても地震があると石垣が壊れます。避難するとなったときに、その道も壊れますよね。 だから、単にそこに倉庫を建てるというだけではなく、そこに行くまでの道についても考えていただきたいと思います。</p>
清水課長	<p>どうもありがとうございます。 防災倉庫は、順次、防災対策が建てている現状で、避難路についても、それぞれ現場を見ながら整備する計画で動いています。 言われている所が、どんな現状かというのは分かりかねますが、防災対策課に確認して、確実に実施できるのか、何か支障があるのか、伊田委員に報告したいと思います。</p>
中村町長	<p>私は、南水研ができた時の担当課長だったのですが、その時はそこまで想定して整備できていませんでした。 最低限、ある程度の高さまで逃げるということで、裏から道まで逃げるということでした。 私からも防災対策課に伝えておきます。</p>

伊田委員	<p>皆さん御存じだと思いますが、倉庫を建てて、その中に何かあるのかということに関しては不勉強で、あれは住民が持って置いて置くもので、地区の道具を入れるものではないというような話も聞いたことがあるのですが、一体どうなっているのでしょうか。</p> <p>倉庫は、テントや水の確保はもちろん、トイレなどの1週間程度しのげる感じのものを作ってもらいたいと考えています。箱だけ作ってもと考えていますので、御検討いただければと思います。</p>
中村町長	<p>町からだけではなく、地域ごとに特性が違いますので、地域で考えるということも必要だと思います。例えば、私の出身は柏崎ですが、この地域は高い所に一切家がないので、そこを登った所に倉庫が三つあります。防災テントやトイレに加えて、それぞれの家から最低の防寒着や食料を50軒分全部入れていて、1年から2年ごとに交換しています。</p> <p>避難訓練の時は、テントを立てる練習をして、中に何かあるか、皆一緒に確認します。</p> <p>当然、町がしていく必要はあると思いますが、同時に地元地域の方々が、倉庫の中に入って、どう活用するのか考えていく必要があると考えています。毎年最低1回でも訓練をすることで、実際に地震があったときの対応ができるではと思っています。御意見ありがとうございました。</p>
手塚会長	<p>ほかに意見はありませんか。</p>
松田委員	<p>実際に福浦に防災倉庫を建ててもらって、活動している中で感じたことですが、今年度は11月頃まで暑く、防災倉庫の実際の温度も高くなりました。</p> <p>防災倉庫の中に食べる物を入れることについて、ボックスの中に入れて炎天下の倉庫の中に置いて、いざ食べるときにどこまで大丈夫なのかと考えています。</p> <p>着るものやトイレなど口に入れられない物は良いですが、食べる物を、この暑さの中で防災倉庫に入れることはどうなのでしょう。</p> <p>水は、期限が切れても、手を洗ったり体を拭いたりと活用できるので良いですが、期限が切れた日を境に腐るものではない</p>

	<p>ですが、それを口の中に入れるとなると抵抗があります。</p> <p>地区の皆さんに、防災倉庫の中に食べる物を入れるようお願いすることが、少し心苦しいというか、本当にそれで命を守れていると言えるのかと思うことがあります。</p> <p>高台に家があって、その家が必ず間違いなく残っているのなら、その家の方に御協力いただいて保管することもできなくはないと思いますが、果たしてそれが間違いのないのかと言われると、やはり自信はなく、間違いないとは言えません。せっかく防災倉庫を建ててもらっているのに、災害があったときにここに置いておけば大丈夫だと言えるようなものにしたいのですが、なかなかそう言えない今の状況を考えると、何か一緒に考えていただけないかなということ、最近すごく思います。</p>
中村町長	<p>防災食や水も含めて、どれぐらいの温度で保管が可能なのかということなども含めて確認していく必要があります。</p> <p>今の暑さは尋常ではありません。かなり余裕を持って、防災倉庫で保管しても大丈夫なものとなっていると思うのですが、言われると不安になりますね。</p>
松田委員	<p>何年か経って、実際に食べるとなった場合が怖いです。</p> <p>虫も幾らでも入ってきます。ホウ酸団子を置くなどいろいろな対策をして掃除もするのですが、やはり隙間はあるのでそこから幾らでも入ってきます。</p> <p>口に入れる物は、衛生的に考えると限度があり、100%大丈夫とは言えないというところが現状です。</p>
中村町長	<p>逃げる時にリュックに入れて逃げるのが現実でしょうか。</p>
松田委員	<p>限りがありますね。必ずしも防災リュックを持っていけるのかと言われると、「その時になったらそれどころではない。」という、命からがらの方が多いているので、そのための防災倉庫という意味で最初は推奨してきたのですが、今は考えないといけないところに来ているのかなと思います。</p>
桑原室長	<p>防災倉庫を設置している場所は、それぞれ条件が違うので、一時避難場所のように集会所の横にあれば集会所での管理ができと思いますが、先ほどの内泊の旧西浦中学校の跡地のような場合は、やはり食糧は置くべきではないと思います。</p>

	<p>先ほど言われた防災グッズの話ですが、皆さんそれぞれではないというかもしれませんが、最初から入れておくということが基本的に前提になると思います。たまたま柏崎の場合は、立地的に良いということもあると思うので、自主防災組織の中で話し合いをしていただいた上で、今後どういう対策を取るかということは、自主防災組織を通して防災対策課と話していくべきことになるかと思います。</p> <p>避難、防災というものは、皆さん御存じのように、町だけでできることではありません。例えば先ほどの避難路については、確保という部分については町が動くことはありますが、その避難路や避難場所の草が生えてきたなどの維持管理というところまではなかなかできない状態です。</p> <p>自主防災組織自体が自立して動いていける体制作りには、町はできる限りの協力をするというスタンスで考えていただけたらと思います。</p> <p>また、防災グッズの購入については、町が補助金も出していますので、知らない方がいらっしやいましたら、そういった情報も是非共有していただきたいと思います。毎年申請できるようになりましたので、1回きりではなく御利用いただけたらと思います。</p>
<p>中村町長</p>	<p>ちょうど話題になっているので、一度、聞いてみたいと思っていたのですが、愛南町で震度6弱を記録した地震の時に、津波の心配がありませんと言われるまでに避難所まで行った方はおられますか。</p> <p>私も途中まで行って、途中で津波の心配がないという放送が聞こえたのでそこから先へは上がりませんでした。私の地域もよく避難訓練していますが、誰も来ていませんでした。</p> <p>私が避難した時点でも、地震発生からある程度の時間が経っていたのですが、やはり実際に避難するということがどれだけ難しいかということを感じました。</p> <p>私の地域だけかなと思ったので、海岸沿いの地域が多いので聞いてみました。</p>
<p>伊田委員</p>	<p>地震があった日に夜の避難訓練があり、帰宅しお風呂に入ってくつろごうかという時でした。</p> <p>うちは少し高台なので、その時点でうちの庭まで7、8人ぐらいは上がってきていました。</p>

<p>松田委員</p>	<p>ほかの場所も、何人か上がってこられた方がいるそうです。避難訓練を夜にされていて、6か所目でした。</p> <p>私たちの地区の防災訓練が6回目で、アドレナリンが高かったこともあって、また、皆さん実際に訓練をしたという意識があったので、結構避難する人がいました。</p> <p>町長が言われるとおりに、実際に避難をするということは、なかなか難しいと思います。</p> <p>後で聞くと、先に情報を得ようとする方が多くて、電気も消えることがなく大丈夫だったので、テレビ中継で情報を得ようとした方が多かったことが分かりました。</p>
<p>中村町長</p>	<p>少しでも、皆さんが避難する気持ちになってもらえるようにと思います。</p>
<p>内田委員</p>	<p>先ほどの内泊の話ですが、娘がうみらいくに勤めています。目の前がすぐ海なのに、まだ倉庫が建っていません。</p> <p>昨年、学生たちに避難についてどこまで教えてもらっているのか尋ねると、とりあえず中泊の方にある道まで上がって、そこからは、そのときに考えようというような答えでした。</p> <p>そこまで上がったことがあるのかと聞くと、ないという状況なので、これではいけないからと、内泊の区長が、今度、町に見に来てもらうようなことは言っていました。</p> <p>うみらいくは、二階に備蓄をしているそうですが、それではいけないと言っても倉庫がないからと言われてます。</p> <p>以前から、地区や先生と一緒に考えたらどうかと言っているのですが、それがなかなか難しいようです。</p>
<p>中村町長</p>	<p>地区と一緒に考えさせていただけると助かります。</p> <p>学生だけだとなかなか無理がありますし、地域自体の地理の不安もあります。向こうから上がって下がらずに行けるとしたら、中泊の方が近いですね。</p>
<p>内田委員</p>	<p>うみらいくからは、中泊が近いですが、例えば雨や雪が降っているときに地震があって避難するときに、道路でじっとしているということも無理な話なので、防災倉庫の中に何日か過ごせる物を置いてもらいたいと思います。プレハブ倉庫でもかまわないので設置をお願いします。</p>

<p>中村町長</p>	<p>中泊の人も避難してくれる人までも、船越の西海中学校に行くよりそこの方が近いので、もちろん今すぐではないからと思っているかもしれないですが、もし明日ということになったときに心配です。</p> <p>やはり大学だけで全て完結させることは難しいです。</p> <p>ほかでも大体、自主防災組織なども地域で作っていただいているので、地域と連携できるような形を大学にも伝えて、そこにうまく大学が入っていけるような形で連携できることが一番良いかなと思います。</p>
<p>木原副町長</p>	<p>一時避難場所として、どれぐらいの時間そこにいるようになるか分からないけれど、とにかくまず高台に上がって命を守る、そこに、今の段階で防災倉庫がない、仮に倉庫があって中にテントがあって張ったとしても、どちらにしても、長期になったらとてもそこにいてもらうことはできないので、恐らく、内泊方面の方々は、旧西海中学校が指定避難場所になるので、長期の避難生活はそちらに移動してもらうようになるだろうと思います。</p> <p>防災倉庫の設置については、とにかく、至急、考えさせていただくように、防災対策課に伝えておきます。</p>
<p>内田委員</p>	<p>防災倉庫は、地区に一つではなくて、いくつ設置しても大丈夫なのですか。</p> <p>今は一つですが、防災防災と言われてすごく意識しているので、防災倉庫の中にちゃんといろいろなものを入れて、と考えています。</p> <p>ここは海が近くてすぐ津波が来るので、逃げるときに何も持っていくことができないこともあるので、ある程度、各家庭で食料などを倉庫に入れるようにしてもらったらどうだろうと話をしています。</p> <p>必要であれば申し込んで、増やして良いのですね。</p>
<p>木原副町長</p>	<p>一時避難場所として、地域の方々に考えていただいて、設置したい場所があるのであれば、来年度いっぱいまでは県の補助もあるので、是非早急にしていただいた方が良いと思います。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>町内に空き家や廃屋があると思います。外泊もだんだん館の</p>

	<p>下の周りに廃屋が4軒あります。</p> <p>その全部に電話線と電気線が付いています。そういう線は、取ってもらわないと、災害時に切れて、落ちたら感電してしまいます。</p> <p>先日、うちの家の下の電柱の線が落ちていたので、電力会社に電話して見てもらったら、電話線だと言われました。</p> <p>使っていないよだと言われたので、気にしなかったのですが、その線が我が家の二階に付いていて、うちの線だったのです。</p> <p>使ってもいない電話線をなぜ付けるのかなと思うのですが、あれは使っていないなくても全部置いておくのでしょうか。</p>
清水課長	<p>お願いすれば、NTTが撤去してくれます、</p>
吉田委員	<p>ひかり電話だからいらないです。</p>
清水課長	<p>旧の電話線は、NTTに言えば撤去してもらえます。</p>
吉田委員	<p>外泊の線はいらないので、特に廃屋の線は取っていただかないと写真を撮る時に線が多過ぎます。いらない線は極力、取ってもらいたいです。</p>
清水課長	<p>前の固定電話の流れで、固定電話をそのまま続ける方もおられます。</p>
吉田委員	<p>でも、使っていないですね。</p> <p>電柱に付いていた線が、二階の壁に付いていて、私たちがいない時に付けたのかなと思いました。</p> <p>外から付けているのですが、いらない線は、極力、取っていただきたいです。個人で言って良いですか。</p>
清水課長	<p>個人で言って良いです。</p>
吉田委員	<p>地域で言えば、取れる所を全部取っていただけるのでしょうか。廃屋は、誰が言えば良いのでしょうか。</p>
桑原室長	<p>それは持ち主ですね。</p>

清水課長	電気の線も同様です。
吉田委員	災害のこともあるので、電気は特に取ってほしいです。
桑原室長	また住むかもしれないなど、持ち主の話になってきますので、なかなか分かりません。
手塚会長	<p>船越にも空き家があります。電気の線も付いていると危ないですよ。</p> <p>持ち主も遠くにおられて、分からなく、通学路なのですが、崩れてきそうになっています。</p> <p>子供にとって危険だなという所も結構あります。</p>
中村町長	そういう危険な通学路や避難路については、持ち主の了解の下、撤去することに対して、80万までは補助金があります。
伊田委員	<p>山などは昔の人の名義で、連絡がつかないという所も多々ありますが、山が崩れてきたとき、持ち主には責任がないのですか。</p> <p>今のところ、家には被害がないけど、もし、山の木が倒れてきて被害があったときは、被害にあった人のお金で直す以外に方法はないでしょうか。</p> <p>この大きな木を切ってもらったら大丈夫なのに、と思っても、他人の土地ですから切れないですよ。</p> <p>被害にあいそうだなと思っても、放っておくしかないでしょうか。</p>
木原副町長	<p>本人に対して申立てができますが、敷地内に収まっている場合なかなか申入れをしても、難しい問題ですね。</p> <p>なかなか手の打ちようがないのが実情だと思います。</p>
桑原室長	<p>昨年4月以降、法務局も相続がうまくいっていない土地については、昔に遡って情報提供して、誰が実際に相続しているかはっきりさせるような動きはあるのですが、追いついていない状況です。</p> <p>その辺りが、誰が責任を持って相続したのかということが、自分たちでは分かる限界があるのは実態です。</p>

中村町長	<p>法律がその部分に追いついてない状態ですね。</p> <p>相続できないことによって、なかなか手を付けることができない所が発生しており、ほかの地域でもそのような陳情が出ていますが、解決には至っていません。</p>
桑原室長	<p>土地に価値があると良いですが、山林などであれば、実際には価値がないという部分があったりもします。</p> <p>難しいとは思いますが、建物であったとしても、先ほど吉田委員が言われたように、もう住めない家をどうするかという管理の話は、人の善意の中での動き方しかないので、地域でその元の持ち主を探してもらうことしか、今はできないと思います。</p>
内田委員	<p>町長も知っているように、うちの地区も本当に落ちてきそうな所が2軒並んでいます。言ってもお金がないと言われます。</p> <p>もう落ちてきているので地震も台風も怖いです。</p>
木原副町長	<p>100万円で除却、解体ができれば、80万円は補助が出るので、自己負担は20万ということにはなるので、それをお金がないと言われると難しいです。</p> <p>町としては、その地域の人がどうしても危険で恐ろしいという状況を申し出てもらえれば、現状の写真撮って、こういう補助金があるので除却していただくか、何らかの対応してもらえないかという内容の文書を、建設課からお送りすることはできます。</p> <p>非常に難しいとは思いますが、町からアクションを起こせば、多少なり、心が動くかもしれませんので、是非お願いします。</p>
手塚会長	<p>これからの愛南町にとって、大事なのは子供たち、保育・教育だと思っています。</p> <p>少子高齢化がすごい勢いで進んでいますが、ある程度お年を召された方は、しょうがないという意見が大半です。</p> <p>しかし、子供たちには同じことを言わせたくない、違う気持ちを持ってほしいという思いがあり、何とか子供たちを盛り上げていかないといけないなと常々思っています。</p> <p>だから、愛南町もその子供を大事にしてほしいと思いますし、もちろんされていると思います。</p> <p>例えば、うちの保育園は少人数ですが、子供たちを見ている</p>

	<p>と少人数でも、自立心を持ってすごく良い成長をしています。これからの教育とはこういうことなのではないかなど、個人的には思っています。</p> <p>一人一人に丁寧に関わっていける環境をつくっていけば、子供が自立しやすいのではと思っています。子供が減ってきたから合併する、それはそれで一つの方法でしょうけど、全然違う考え方を持って子供たちの環境を考えていく必要もあるのではないかと思っています。</p> <p>高齢者の方も大事ですが、子供のことも同じように大事に、これから子供たちが輝けるようにしていただきたいと思えます。</p>
中村町長	<p>私の公約でも、子育て支援に力を入れていきたいと思っています。まだ、ここで発表ではないですけど、少しずつ、今後、変わってきたという風になってくると思います。</p> <p>ただ、当然お金とのバランスを考えながらにはなります。</p>
伊田委員	<p>私は、少人数の学校も目が届くので良いなと思っています。</p> <p>都会に比べると大きいというほどでもありませんが、平城小学校は規模も大きく、4、5年生は2クラスになっているようです。一人の先生が30人ぐらいを見るのと、目の届き具合が違うと思います。大きな学校は、先生も大変さが分かるので、私は小さい学校の方が好きです。</p> <p>大きな学校の方がいろいろなことを経験できるという人もいるでしょうけど、私は、日々の生活の中でも、全部自分がしなければいけないので、大きな学校は、ここしかしないとか、皆助けるということもないと思うところがあります。</p>
中村町長	<p>それぞれ、メリットデメリットがあると思います。</p> <p>愛南町の場合は、一番大きい学校でも小規模と言われるぐらいですが、学校の先生と話すと、理想は一クラス20人ぐらいとのことでした。</p> <p>昔は、一クラス45人などといった世代で私たちは育っているのですが、30人を超えるとなかなか大変らしいです。</p> <p>なぜ20人ぐらいが良いのかというと、目は届く規模でありながら、ある程度グループ学習をさせて、同学年で多様な意見をやり取りさせた上で、そのグループごとに自分たちの考えを発表することができます。そういった点で、それぐらいの人数</p>

	<p>が良いということは聞きます。      どちらもメリット、デメリットがあります。</p>
手塚会長	<p>今の教育の良いところは、一人1台タブレットを持っていることです。だから遠くに行っても、関係性が持てます。</p>
清水課長	<p>ところで、うちの保育園にはAEDがなくて、設置したいと思っているのですが、予算の関係もあってできていません。ほかの公立保育所は全部、町に整備してもらっています。</p>
高橋委員	<p>うちが頑張れば良いのですが、何か良い方法はないでしょうか。</p> <p>私も教育はすごく大切だと思っています。</p> <p>手塚会長から御提案いただいたのですが、預かっている園児たちを、うちの船に乗せてあげるようなイベントを開催するお話はとても良いことだと思い、私も賛同し進めようと思っています。</p> <p>愛南町には、海を取り入れた教育を扱ってほしいと思っているところです。</p> <p>世界中で見ても、すごく意味があるので、それを知らないまま外に行ってしまうのはもったいないと思います。</p> <p>それとは別に、個人的な思いとしては、皆が知っているのか知らないのかということだけで、人生が変わってくると思っています。</p> <p>子供たちが地域の中で学べることはたくさんあるので、身近なところで学んでほしいと思います。</p>
桑原室長	<p>今、愛南町にも海業推進室があって、高橋委員もその委員になられて、いろいろな関係を持たれていると思います。</p> <p>来年、本格的に、教育分野でも海業の活動を入れた事業を行うべく国に申請しています。</p> <p>そのような部分がうまくいけば、そういう活動の一つに対しても、予算的な部分の措置も対応できるかなという思いがあるので、こういう意見もありましたということでは言わせていただけたらと思います。</p>
伊田委員	<p>鹿島でのキャンプなどはできないのでしょうか。</p>

伊田支所長	<p>夏休み期間、鹿島に渡り、前と変わらず実施するようにしています。</p> <p>3年ほど前に崖が崩れて、3年間キャンプができなかったのですが、最近、県に修繕していただき、キャンプができるようになりました。</p>
中村町長	<p>須ノ川公園のキャンプ場は、昔と違って去年などは、夏休み中の暑い時期は、お客さんがすごく少なくなりました。</p> <p>その代わり、10月、11月でも、連休であれば70組来ることもあります。そういう趣向や一般の人の要望の変化もうまく捉えてやっていくのも方法だと思います。</p> <p>鹿島でキャンプをするには労力が大変掛かると思います。観光でキャンプを考えないのであれば、通年で楽しんでもらえる取組というものが、これからの愛南町の考えかなと思います。</p>
高橋委員	<p>観光に地域の人も関わっていただけると一番良いです。</p>
吉田委員	<p>観光といえば、早見さんが観光大使になっていると思うのですが、早見さんにも関わってもらえる何かをしてほしいです。</p>
手塚会長	<p>先ほど言われていた海業の教育について、是非保育園児も対象にしてもらえるようお願いします。</p>
高橋委員	<p>一つ思うところが、行政をお願いする姿勢から、少し自分たちで動いていく流れを作らないといけないと思っています。</p> <p>何とか成功事例を作りたいので、協力をお願いします。</p> <p>行政も一杯一杯になってきているので、これからは中身からどんどん動いて、我々がやっていかないといけないのではないかなと思っています。</p>
木原副町長	<p>そうやって、海業も引っ張っていただいて、行政がバックアップするぐらいの形になるのが一番理想ですね。</p> <p>旗振りの方がすごいアイデア豊富なので、その距離が、あまり離れないようにして行かなければいけません。</p>
高橋委員	<p>このコミュニティもすごく大事だと思うので、こんなことをしてくれているということを知ってもらいたいのも、私のスピーカ</p>

	<p>一としての役割だと思います。</p> <p>地域から出るアイデアもすごく大事にしていきたいと思えます。</p> <p>町外から来る人が結構すごいという声が多くありました。</p> <p>ここに住んでいると忘れてしまうので、そういうところから意識を変えていきたいなと思っています。</p>
伊田委員	<p>ガンガゼウニや磯焼けの対策はあるのでしょうか。</p>
中村町長	<p>磯焼けの原因は、ウニだけではないのですが、一部ウニッコリーとして、ガンガゼウニにブロッコリーの端材を与えて、おいしくして出荷するなどはしているのですが、単価などを考えると、これが大きな産業になるのは難しいですね。</p>
高橋委員	<p>地域でガンガゼウニを駆除されている方がいて、やはり駆除するとその場所は一定の効果があるということは、言われています。ただ、自然で難しいのは、そこで影響を与えてしまうと、ほかの地域に何かしらの影響を与えているはずで。</p> <p>有名なところでいうと、サンゴを食べるオニヒトデを中途半端に駆除すると、大発生で本当は死んでしまうやつも間引きして、余計に生き延びてしまって、危害が拡大するということがよく言われています。</p>
手塚会長	<p>その他質疑等ありませんか。</p>
全委員	<p>(なし)</p> <p>(閉会)</p>